

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和2年3月19日（木）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

まずは、1番の「原子力規制委員会」についてです。

(1) 第73回原子力規制委員会、これは23日月曜日の10時半からとなります。議題は3つございます。

1つ目は「東京電力福島第一原子力発電所の事故調査に係る当面の計画等について」。こちらは1月29日の原子力規制委員会におきまして、福島第一原子力発電所の事故調査に関する職員の被ばく管理の方針について、了承を頂きました。その方針を踏まえまして当面の事故調査の予定と職員の被ばく管理の方法について、委員会に報告をするものです。

議題の2つ目です。「発電用原子炉施設のデジタル安全保護回路に係る共通要因故障対策の強化について（第2回）～検討チームにおける検討結果の追加報告～」、こちらは3月11日の原子力規制委員会におきまして、デジタル安全保護回路の共通要因故障対策に関する検討チームの検討結果を報告したところ、今回、追加の報告を行うとともに、その検討チームの検討結果を踏まえて、2回目の今後の取組に関する議論をしていただくものです。

議題の3つ目となります。「『震源を特定せず策定する地震動に関する検討チーム』の検討結果を受けた事業者からの意見聴取結果及びこれを踏まえた基準の改訂方針について（第2回）」、こちらは3月4日の原子力規制委員会におきまして、震源を特定せず策定する地震動の基準の改訂案のイメージと論点について報告をいたしました。これを踏まえまして、新たな論点を報告するとともに、基準の改訂方針について、2回目の議論をしていただくものです。

続きまして、2番の審査会合の関係です。1枚おめくりください。2ページ目です。一番上から参ります。

3月24日火曜日、(3) 第853回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは山中委員と石渡委員の合同で対応されます。

議題ですけれども、中国電力・島根原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、耐津波設計方針、具体的には入力津波の妥当性についての昨年5月21日の会合のコメント回答を受けるものです。

その下です。続きまして、真ん中の3月26日木曜日、(6) 第12回原子力施設等における事故トラブル事象への対応に関する公開会合、こちらは武山安全規制管理官の対応となります。

議題です。議題の1つ目は、四国電力・伊方原子力発電所3号機において、1月12日に発生した制御棒クラスタが上部炉心構造物とともに引き上げられた事案、その原因と対策について説明を受けるものです。

また、議題2、その他としてありますけれども、1月20日に発生した燃料集合体点検時の落下信号発信事案、また、1月25日に発生した所内電源が一時喪失した事案についても、原因と対策の報告があります。

続きまして、その下です。(7) 第1回クリアランスの測定及び評価の不確かさに関する事業者との意見交換会、こちらは大村長官官房審議官の対応となります。

議題ですけれども、まず、昨年9月11日の原子力規制委員会におきまして、クリアランスの審査基準が新たに制定されました。その意見募集の実施を決定した昨年6月5日の原子力規制委員会におきまして、意見募集の実施と同時に、クリアランスの測定時に生じる不確かさをどう考慮するかという論点につきまして、事業者の考えを聞く場を別途設けることとされております。そして、今回、関西電力、中国電力、日本原電から、それぞれの意見を聴取するものです。

その次です。その下になります。(8) 第346回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは日本原燃・再処理施設の事業変更許可に関しまして、3月13日の補正申請に対する規制委員会からの指摘等を行うものです。

続きまして、1枚おめくりください。3ページ目です。

一番上の(9)につきましては、議題調整中となります。

その下です。3月27日金曜日、(10) 第16回核燃料施設等の廃止措置計画に係る審査会合、こちらは3月18日、昨日の原子力規制委員会におきまして、日本原子力研究開発機構(JAEA)の人形峠環境技術センター加工施設の廃止措置計画の認可に関し、その審査書の案について再検討するよう指示がございました。それを踏まえまして、今回、審査会合を開き、委員会の指示をJAEAに説明するものです。

その下です。(11) 第855回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは東北電力・東通原子力発電所の設置変更許可に関しまして、敷地周辺の断層、一切山断層の追加調査の結果について説明を受けるものです。

続きまして、その下です。(12) 第11回東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会、こちらは金子長官官房審議官の対応となります。更田委員長も出席の予定です。議題は主に3つございます。

議題の1つ目ですけれども、これは1号機と3号機のベント配管の汚染の違いに関しまして、前回会合等でサプレッションチェンバのスクラビング効果、いわゆる水が放射性物質を低減させる効果の影響について議論になったため、今回、検討を行うものです。

議題の2つ目です。これは1・2号機と3・4号機のベント配管の汚染の解析に関しまして、前回、2月8日の検討会で出た指摘に対しまして、規制庁から説明を行うものです。

議題の3つ目です。こちらは1月30日に行いました2号機原子炉建屋のオペレーティングフロアにおけるシールドプラグの遠隔操作ロボットを使った汚染状況の調査に関しまして、その測定結果を規制庁から説明するものです。

私からは以上となります。

#### <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。御質問ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—